

都道府県名	島根県	事業実施主体	島根県、雲南市	地域再生計画名	「たたら」生きづく雲南市 道路ネットワークづくり計画
計画期間	平成29年度～令和5年度	評価責任者	島根県雲南県土整備事務所 農林工務部長 若槻 明、雲南市 建設部 農地整備課長 保科浩二		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況	最終目標値の実現状況に関する評価			
		基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績							
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1 観光交流の活性化 (年間観光入込客数の増加)	148万人	H27	150万人	R1	145.7万人	150万人	R5	107.3万人	×	指標 達成 総数 数	尾道松江線の全線開通以降の入込客数は大幅に増加したが、近年は概ね横ばいで推移していた。 また、出雲湯村温泉の主要な宿泊施設である国民宿舎清風荘の改築を、平成30年1月から1年半かけて整備を行い、令和元年11月にリニューアルオープンした。 この出雲湯村温泉を活用した様々な観光メニューを展開し、観光誘客の促進を図っていく予定であったが、コロナ禍により入込客数が激減した。 観光入込客数は令和3年度に93.3万人まで減少したが、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行や、数年間中止していた観光イベントが再開するなど徐々にではあるが確実に回復してきており、令和5年度には基準年度の7割まで回復している。 島根県全体の令和5年度の観光入込客数は基準年度の9割まで回復しており、農道保全対策及び市道改築が計画どおり完成し、観光施設間の周遊性、利便性の向上が図られたことから、今後は当地域への流入が更に加速することが期待される。 加えて、民間によるレジャー施設が令和4年10月にオープンしたことや、市内有数の集客スポットである道の駅「さくらの里きずき」の再整備が令和7年に完了するなど、観光資源は一層充実していくことから、年間観光入込客数の目標値を達成できると見込んでいる。	
	指標2 年間観光消費額の増加	40億円	H27	43億円	R1	35.6億円	43億円	R5	23.7億円	×	3	0	上述の国民宿舎清風荘の開業を契機として様々な観光メニューの展開、同年7月に三刀屋木次インター周辺において、地元食材を利用した料理を楽しめる店舗が立ち並び「コトリエット」をオープンさせ、相乗効果による観光消費額の向上を目指していたが、コロナ禍以降は減少傾向となった。 観光入込客数と連動して観光消費額も令和3年度に18.7億円まで減少したが、観光入込客数の増加に伴い、令和5年度には基準年度の6割まで回復している。 本地域には宿泊施設が少ないため滞在型観光への誘導が課題であったが、大手ホテルチェーンによるホテル（客室94室）の新規開業が令和7年に予定されており、今後は滞在型観光の旅行商品の開発等により、従来の周遊型観光より一人当たりの観光消費額の向上が期待され、年間観光入込客数の増加と相乗して観光消費額の目標値を達成できると見込んでいる。
	指標3 移住人口の増加	43世帯 80人	H27	64世帯 151人	R1	53世帯 101人	70世帯 170人	R5	62世帯 125人	×	×	最終目標値には達しなかったが、中間目標値に対して世帯数及び移住者数ともに2割程度の増加に繋がった。 引き続き、定住サイトやSNSを活用した情報発信、Uターン者に特化した移住施策等の推進を行っていく。 移住人口については、新型コロナウイルス感染症への対応としてリモートワークの推進や、密を避けた生活スタイルのPRなどを行った結果、世帯数、人口ともに概ね右肩上がりの経過をたどっている。 令和2年からは新たにオンラインによる移住相談や移住体験プログラムを実施したことにより目標達成に向けて着実に進捗している状況であり、今後も情報発信等に積極的に取り組むことで、早期に目標値を達成できると見込んでいる。	
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1												
	指標2												
③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
		計画	中間年度 (R2)	最終実績									
特別措置を適用して行う事業	県営広域農道雲南飯石線保全対策 (L=40,342m)	40,342m	19,813m	40,342m	H29年度～R5年度に法面補修8箇所、雪崩防止4箇所、落石対策1箇所、舗装修繕3,720mを実施し事業を完了した。								
	県営広域農道雲南大仁線保全対策 (L=6,428m)	6,428m	6,428m	6,428m	H30年度までに計画していた法面対策2箇所を実施済みであり、進捗率は100%。								
	市道川井箱淵線整備事業 (L=4,357m)	4,357m	2,000m	4,357m	H29年度～R4年度に落石対策4箇所、舗装修繕1,760m実施し、事業を完了した。								
	市道松笠穴見線整備事業 (L=1,614m)	1,614m	1,614m	1,614m	H29年度～R1年度に落石対策1箇所、舗装修繕550mを実施し、事業を完了した。								
その他の事業													
計画外で独自に実施した事業	社会資本整備総合交付金、 防災・安全交付金事業	安全安心な道路ネットワークの構築			路線により進捗状況に違いがあるものの、順調に整備が完了した。								
	農山漁村地域整備交付金事業	高規格道路を結ぶ道路ネットワークの構築			国道54号と尾道松江線雲南吉田インターチェンジを結ぶ掛合川上地区農道がH29年度に採択を受けたものの、予算が十分確保できず、またR3年発生豪雨災害の復旧を最優先としたことを受け、事業進捗が遅れていた。 現在は、予算の状況が改善され、必要額が確保できる見込みとなったこと、また災害復旧工事も概ね順調に完了に向かっており、進捗の遅れを取り戻している。								
	観光資源を活用した周遊プランや 観光イベントとの連携	市内に点在する観光地をテーマごとにまとめた周遊プランによる誘客、イベント連携による観光振興			平成27年3月に全線開通した尾道松江線によって、山陽方面からの誘客数の増加が図られた。 市内には観光地が点在しており、マイカー移動だけではなく、地元タクシー事業者と連携したタクシープランを実施するなど周遊観光を推進している。 また、県を越えたサイクルイベント等により山陽方面との交流が図られている。								
	移住・定住支援	田舎暮らし・産業体験 空き家改修助成 公営住宅の家賃軽減			体験プログラムや産業体験の希望は多く、それらの実施を通して、実際の移住定住につながったケースは多い。 また、移住希望者の住まいにつながる空き家改修事業や子育て世帯の宅地購入支援事業などを実施し、活用された移住者も多く成果につながっている。								
	雲南市ブランド米推進作付支援事業	たたら焔米の買い取り価格の一部補助			稲作経営の安定化や良質な農産物の生産向上とブランド米の推進を図るため、「プレミアムつや姫たたら焔米」の作付条件を満たした稲作農家等に、島根県農業協同組合を介して米の買い取り価格の一部を補助している。								
④評価方法	「島根県雲南地域再生計画評価委員会」を開催し、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。												
⑤事後評価の公表方法	島根県、雲南市のホームページに掲載し、公表する。												
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、地方創生道整備推進交付金により、市道改築と広域農道の保全対策を一体的に実施することにより、観光施設間の周遊性、農畜産物輸送の効率向上、防災減災が図られ、地域が行う独自の取組（観光振興や交流イベント、移住・定住支援）と合わせ行うことにより観光交流の活性化や移住人口を増加させることを目的としている。 目標としている指標1、2については、現時点で達成率は約6割となっているが、コロナ禍による影響から確実に回復してきており、新たに完成した観光施設等に加え近年中に整備予定の施設もあり、本事業により観光施設間の周遊性、利便性の向上は観光交流の更なる活性化に資することから、既存事業や新たな事業を有機的に連携させ、引き続き積極的に連携を行うことにより指標の達成を図る。 指標3については現時点で達成率は概ね8割であり、現行の事業にしっかりと取り組み、更なる情報発信などに積極的に取り組むことで早期の指標の達成に向けて努めていく。												
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、円滑に整備が進んでおり、目標の達成に向け、一定程度寄与したと考えている。 引き続き、政策を推進するために他事業や市独自事業と連携して取り組みを継続する予定である。												